

図面作成に「早さ」を追求するためには



施工の現場では時間の確保はなかなか難しいのが実情ですよね。日々の打合せ・段取り・他の施工管理も重要ですから作図ばかり時間を掛けてもいられないし働き方改革などで残業も難しいし人員も不足がち、どうしても後回しにしてしまいやすい図面の検討が施工管理のネックになるのもまた実情だと思います。「少しアプローチを変えて・・・」のホワイトペーパーを実現ができれば苦労はないのかもしれませんが、全部は到底無理だともうそのようになればアウトソーシングも検討しても良いのかも知れません、実際不安はあるでしょう、しかし設計図ベースの施工図であっても検討・打合せに挑むことができるツールが手元にあるのとないのでは大きな差があると思います。施工では打合せが欠かせないのでそれがないままの施工図では実施工に用いることは危険ですね、何度となく打合せをして図面を修正して関係業者間の調整が済み自身もチェックした図面が必要であればやはりアウトソーシングもご一考ください。

